

■献血の種類

献血には4つの種類があります。

献血で集められた血液は、使用目的に合った製剤となって、患者さんのもとに届きます。

血漿分画製剤の中には、海外に頼っているものもあるんだっ！



成分献血

血液中の血小板^{けっしょう}や血漿^{けっしょう}だけを献血する方法です。

全血献血

血液のすべての成分を献血する方法です。

血小板成分
献血

けっしょう
血漿成分
献血

400ml献血

200ml献血

けっしょうぶん
血漿分画
製剤用

血漿分画製剤をつくるためにも、血液が多量に必要とされています。

血小板製剤



血小板産生低下による血小板減少症などの場合に使われます。

有効期間
4日

血漿製剤



外傷や外科手術などに使われます。

有効期間
1年

血漿分画製剤
(アルブミン製剤等)



やけど、重症感染症の予防治療のために使われます。

有効期間
2年

血漿製剤



外傷や外科手術などに使われます。

有効期間
1年

赤血球製剤



慢性貧血、外科手術前後の輸血などに使われます。

有効期間
21日

全血製剤



血液細胞成分および血漿成分を同時に必要とする場合に使われます。

有効期間
21日

※主な製剤についての有効期間を示しています。

■採血基準

この採血基準に当てはまる場合に献血ができます。(問診などの結果では献血できないこともあります。)

これは、献血者や、輸血を受ける患者さんの安全を確保するために設定されています。

16歳から献血できるっ！



採血基準の主なもの

		200ml献血	400ml献血	成分献血
年齢	男	16歳から	17歳から	18歳から
	女		18歳から	
体重	男	45kg以上	50kg以上	45kg以上
	女	40kg以上		40kg以上